



一歩前へ

一歩前へ
まじり
まじり
まじり

糸魚川市立下早川小学校 標高 92m 児童数 75名 平成 30年 11月 22日発行 第 1005号

URL <http://www.tukimizu.itoigawa.ed.jp/> または **下早川小学校** で検索 (カラー版でご覧いただけます。)

糸魚川市小・中・特別支援学校 音楽発表会 11月1日(木)



市内19の小・中・特別支援学校が糸魚川市民会館のステージで音楽発表を行いました。5, 6年生27名が心をこめて音楽を奏でました。曲目は合唱「今日から明日へ」



合奏「打上花火」です。合唱は元気にはつらつと、合奏は曲のもつミステリアスな雰囲気を生かしながら見事に演奏しました。他校の演奏もすばらしく、お互いの演奏をじっくり聴き合う音楽会となりました。

新潟地方気象台の協力で 火山防災学習・気象学習を実施 10月30日(火)

今年度、新潟地方気象台の協力で行う授業は2回目となります。6年生は1学期に焼山中腹まで登山しましたが、今回は教室で、噴火の仕組みや、焼山が噴火したら火砕流や溶岩がどこを流れ下るかを予想したり、世界の火山の大噴火を映像で見たりして学習しました。溶岩が周りを焼きながらゆっくり流れ下る様子や火砕流の凄まじい勢いに、息をのんで映像を見つめる姿がありました。



藤原火山防災官が火山災害について説明



上原気象予報官が富士山測候所での経験と雷の危険について説明

後半は5年生が加わり、気象予報についての話を聞きました。これから特に多くなる「落雷」の危険について資料映像を使いながら分かりやすく話していただきました。藤原さん上原さんがこの仕事に就こうとした理由なども教えていただいたので、お二人が思いをもって夢を忘れず挑戦してきたことも子どもたちに伝わったようです。

「みずほ教育財団」から図書の寄贈がありました 10月31日(水)



「みずほ教育財団」は全国の小規模な学校を中心に図書の寄贈などの教育支援を行っている団体です。今回、当校に3万5千円相当の図書を寄贈してくださいました。図書は以下の通りです。

「2018年新刊かみしばいセット」(全5巻)

「5分後に意外な結末」(全5巻)

「まんが☆プラネタリアム『星座と神話』」(全5巻)

財団の担当者、真鍋さんが東京からおいでになり、直接図書委員会の児童に本を手渡ししてくださいました。11月19日から読書週間が始まりました。児童らが新しい本を手にとってたくさん読んでくれることを願っています。

5年生児童「東海里山保全会」の皆様と なめこ駒打ち体験 11月16日(金)



5年生は「早川の食」について学んでいます。里山保全会の皆様から誘っていただき、なめこの駒打ち体験をしました。ナラやブナなどの木を切り、ナメコ菌を駒打ちして栽培することを初めて知りました。指導を受けながら、約1時間半にわたって作業を行いました。お土産に駒打ちした小さな原木を一人一個ずついただきました。適切な環境に置くと来年にはナメコが出てくるそうです。楽しみです。

ら、約1時間半にわたって作業を行いました。お土産に駒打ちした小さな原木を一人一個ずついただきました。適切な環境に置くと来年にはナメコが出てくるそうです。楽しみです。

4年生児童ジオパーク学習交流会で 月不見の池の水質改善 について発表 11月16日(金)



4年生児童は糸魚川ユネスコ世界ジオパーク学習交流会で学習発表を行いました。月不見の池の水質や水量の問題を解決するために、自分たちで考えたアイデアを堂々と伝えました。ビーチホールまがたまの広いステージが狭く感じるほど熱のこもった発表でした。

1年生 ヤギ(ゆうき) とのお別れ会 11月20日(火)



9月18日から飼育を開始したヤギ(ゆうき)を荻谷畜産に返す日がやってきました。2ヶ月間にわたる飼育活動を子どもたちは立派にやり遂げました。命、そのぬくもり、愛すれば応えてくれることなど、教科書にはない学習ができました。迎えて来た近藤さんが「牧場にいるヤギより大きいです。可愛がってくれたのですね。」とおっしゃいました。大根やキャベツの葉っぱを持って登校した児童もいました。休日の世話に御協力いただいた保護者の皆さん、ありがとうございました。

11月の秀句

ふゆもみじ かぜにとばされ とんでいく 1年渡邊真美 七五三 またやりたいな 九さいで 2年 川合娃乃
冬日和 ピカピカ赤い ながぐつや 3年 岡田悠里 大根が 引っこ抜かれて 寒そうだ 4年 野本莉愛
すきま風 ねこが身ぶるい 冬が来る 5年加藤小春 いらっしやい 甘い干し柿 のれんだな 6年吉原ほのか